

学力向上推進拠点校指定事業 連絡協議会

7月3日（木）に福岡県教育庁教育振興部義務教育課、福岡県教育庁北九州教育事務所、直方市教育委員会、他の5地区の拠点校の関係の先生方などが集まって連絡協議会を実施しました。3学級の授業を公開し、授業整理会、協議会を行い、本校の研究に対し、多くの指導・助言をいただきました。いただいた指導・助言をもとに、今後の方向性を明らかにし、11月6日（木）に実施される最終報告会に向けて取り組んでいきます。

研究主題 意欲的に学び、思考・判断・表現できる生徒の育成
～のおがた授業モデルとICT機器の効果的な活用を通して～

研究の視点【着眼1】単元や授業過程における、学習意欲を喚起するための工夫

【着眼2】「一人学び」や「協働学び」における、自分の考えをつくり、広げたり、深めたりするためのICT機器の効果的な活用

<公開授業> ※学習指導案は後日掲載します。

1年美術科 「見つめ感じ取り描く」

○主眼 作者の意図について、作品の造形的な要素を基に自分なりの根拠をもって説明し合う活動を通して、より深く作品を鑑賞し、見方や感じ方を広げることができるようにする。

○研究の視点

【着眼1】① 作品鑑賞への意欲を高めるために、電子黒板で作品を表示したのち、実寸大サイズの作品を壁面に提示し、細部まで鑑賞できるようにする。電子黒板では見えていなかった細部が実寸大では見えることに気付かせる。

② 学習意欲を喚起するために、アンケート結果を提示し、課題意識をもたせる。

③ 作品を細部まで楽しみながら鑑賞させるために、ミッケというゲームを通して鑑賞活動を行わせる。

【着眼2】① 造形的な要素や特徴をとらえさせるために、作品を拡大・縮小しながら鑑賞活動ができるようタブレットを活用させる。【活動の効率化】

② 全体交流の際に、考えを視覚的にとらえさせるために電子黒板を活用させる。

【考えの共有】



絵を拡大して細部まで鑑賞しています



鑑賞して自分で考えたことを交流しています

2年数学科（習熟度別少人数授業） 「連立方程式」

<基本コース>

○主眼 連立二元一次方程式を利用して解くことができる個数や代金についての問題を作成する活動を通して、作成した問題が適切であるかを他者と交流させながら、問題を解決することができるようにする。

○研究の視点

【着眼1】① 連立二元一次方程式を利用する問題に関心をもたせるために、与えられた問題を解くのではなく、自ら連立二元一次方程式を利用する問題を作成させる。

② 学習意欲の継続を図るために、友達が考えた問題の中から、自分が挑戦したい問題を選び解かせる。また、解いた後は、出題者に採点させる。

【着眼2】① 「一人学び」の際に、いつでも前時までの学習内容を振り返ることができるようにするために、学習内容をロイロノートにまとめさせる。【データの蓄積】

② 「協働学び」において、全員の問題の中から、自分が挑戦したい問題を選ばせるために、ロイロノートの共有機能を活用する。【情報の共有】

<発展コース>

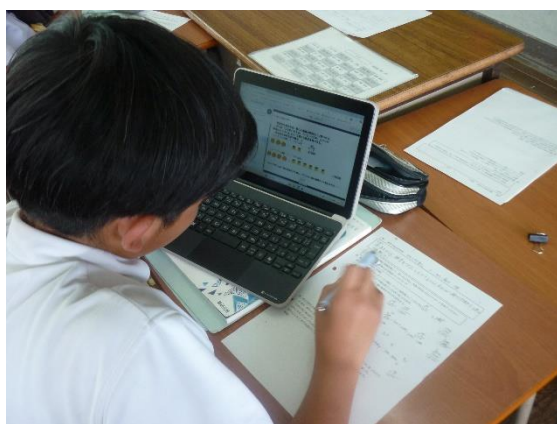
○主眼 連立二元一次方程式を活用して解く問題を、相互に説明・解決し合う活動を通して、問題の構造を理解するとともに、解答を作成する手順を理解し、多様(料金、道のり・速さ・時間、割合)な問題に対応することができるようにする。

○研究の視点

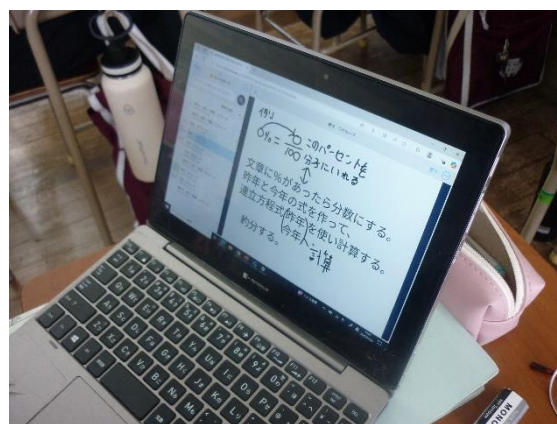
【着眼1】① 本時の学習意欲を喚起するために、タブレットを使い、前時までに考えが進まない生徒に向けてヒントカードを作成させたり、問題ごとに各グループが生徒同士で解き方の説明を行えるよう解説を作成させたり、オリジナル問題の作成をさせたりする。

② 学習意欲を継続させるために、クラスメイトが作ったオリジナル問題をロイロノートの資料箱から選び、それぞれが挑戦したい問題を選択し、解かせる。

【着眼2】① 必要な時に見返し、考えを進める手立てにするために、プリント毎にロイロノートにまとめと振り返りをさせる。【データの蓄積】



他の生徒が作成した問題を解いています



他の生徒が作成したヒントカードです

3 年社会科「二度の世界大戦と日本」（第二次世界大戦と日本の敗戦）

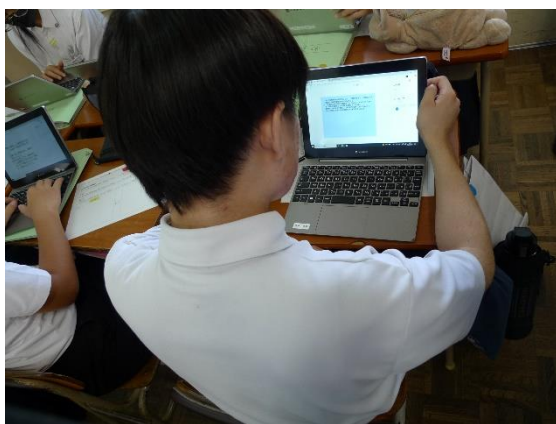
○主眼 日本が15年間戦争をやめられなかった原因について、視点及び視座（政治・経済・外交・軍部・政府・国民）別のグループで考えを共有し、意見を出し合う活動を通して、それぞれの原因の比率を考察し、相互に関連付けて説明できるようにする。

○研究の視点

【着眼1】① 本時の学習意欲を喚起するために、前時までに考察する視点及び視座を決定させ、資料やタブレットを活用して考察を行い、まとめさせる。

② 学習意欲を持続させるために、Padlet を活用し、自分の意見が可視化できるようにする。

【着眼2】① 自分の考えに、他者の意見や他の情報などを取り入れて自分の考えを再構築させるために、Padlet を用いて視点及び視座別のグループで共有し、「いいね」や「コメント」を出し合わせる。【考えの共有・情報の整理】



Padlet に書き込まれた意見を確認しています



Padlet に書き込まれた意見について、プリント等を使って確認しています